

半布里

＝学校の教育目標＝
美しい心を持ち 自ら考え
たくましく 実践する子

学力向上に向けた授業改善の取組について

校長 元田秀人

全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた学力向上の取り組みについてのパートⅡです。

国語の問題では、漢字を読むことや具体的な事例を挙げて説明する文章を書くことの理解が図れていました。しかし、次の例のように以前に学習した内容が定着していないという課題も見えました。

〈主語をとらえる問題〉

- ① 降っていた 雨が 急に やんだ。
ア イ ウ エ
- ② ぼくの 妹の 誕生日は 五月二日だ。
ア イ ウ エ

上記の問題は、岐阜県・富加小の正当率はどちらも4割程度でした。第2学年から毎学年繰り返される指導が、子どもたちの知識として積み上がっていないという課題がありそうです。教師は、縦の系統性を考えて、前学年の復習問題を取り上げて実態をつかんで指導することや学び直しの時間を確保すること、児童は、家庭での復習で定着を図るなどのことも大切ではないでしょうか。

算数の問題では、8割の子ができていた問題として、計算問題でよく努力が見られました。

- ①分数の除法の計算 $5/9 \div 7 =$ ②異分母の分数の減法計算 $5/9 - 1/4 =$

- ③示された見取り図の情報を基に、展開図に必要な面の大きさを読み取る。

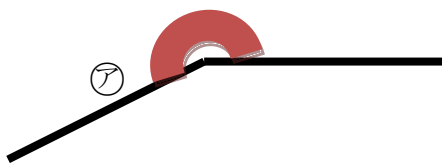
また、分析の中で次のような課題も明らかになりました。

〈下記の問題：4年生で学習した角の大きさの測定問題〉

- ①見当をつける

- ②測定する

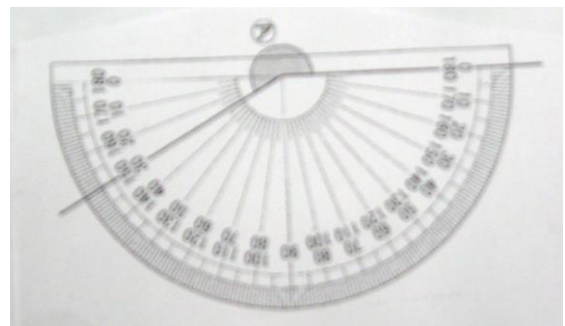
- (1) ㊦の角の大きさをはかります



- 1 90° 未満である。
2 90° 以上で、 180° 未満である。
3 180° 以上で、 270° 未満である。
4 270° 以上で、 360° 未満である。

正解 3

- (2) ㊦の角の大きさをはかります。



正解 $180^\circ + 30^\circ$ で 210°

見当をつける問題では、7割近い子が、㊦の角を正解の「 180° 以上 270° 未満」だと答えています。しかし、角度を分度器から正確に読めた子は、約3割でした。つまり、見当で、 180° 以上と答えているにもかかわらず、 30° や 150° と答えていても、おかしいと気付けなかったことも考えられます。つまり、計算や測定などを行う際は、処理ができるようにするだけでなく「①見当をつける」、「計算や測定を行う」、「③結果を振り返って確かめる」という学習の一連の活動であることを意識するようにさせることが大切です。これは、算数だけでなく、学習の取り組み方として身に付けさせなくてはならない課題だとも言えそうです。また、聞いたことを図で示したりグラフから多様に読み取ることができるなど、物事のつながりや関係に関連づけて考える力も伸ばさなくてはならないと考えています。

【低学年】

- 文を書く時や話す時に、単語ではなく文で答えられるようにする。(○○が～しました。)
- 課題やまとめを書く際に言葉やまとまりを意識して書けるようにする。
- 朝の会や帰りの会も含めて友達の話につなげて話すことができるように指導する。
- 演算決定の根拠を説明できるようにする。計算の仕方を示す。
- 読書の習慣づくり 絵本(読み聞かせ)から活字本(自分よみ)へ

【中学年】

- 辞書の活用の時間を位置づける。音読や発言など大きな声で長く話せるように支援する。
- プレテストで実態を把握し、単元の指導に生かす。
- 話型やよいモデルを示し、相手を意識した話し方ができるように指導する。
- 語彙を増やすために、辞書を引く課題を与える。視写の宿題を出す。読み取りプリントの取組をする。

【高学年】

- 仲間の意見を聞いて、分かったことを話す練習を位置づける。さらに、仲間数人の話を聞いて、まとめた話ができるような話す力をつける指導を大切にする。
- 文章を読む力をつけるために、できるだけ音読の時間を確保する。辞書を使って進んで意味調べができるように自分で調べる習慣をつけさせる。
- 文章問題を図式化してまとめ、理解を深める(絵、図、言葉、簡条書き一式、解く)
- 計算ドリル・漢字ドリルについて目的意識をもって取り組ませる。

【学習状況について】

◆学習への意識

- ・特に、「理科の授業が好き・分かる」と答えている子が9割を超えて傾向が顕著です。また、国語や算数が好きと答えている子も増えています。

◆学習習慣の状況

- ・「学校へ行くのは楽しい」「家で、自分で計画を立てて勉強している」と答えている子が増え、平均を上回っています。
- ・「家で、1時間以上の勉強をしている」「家で、学校の授業の復習をしている」と答えている子が約半数にとどまり、家庭学習の習慣が十分に定着していません。

◆基本的生活習慣等の状況

- ・家庭学習朝ご飯や起床時刻の結果から基本的な生活習慣は全体的に身に付いているといえます。また、ご家庭のみなさんは学校行事への参加も積極的に学校教育への関心の高さや協力的な姿勢が調査からも分かりました。
- ・ただ、その中で寝る時刻が不安定であったり、家族の会話が少なかったりする児童については学力が十分に身に付いていないという結果が出ています。また、テレビやゲームに向かう時間が長い子は、その分家庭学習ができておらず、その結果基礎的な学力が身に付いていないことに結びついています。
- ・今後、特に次のことについて家庭での見届けをお願いします。
 - *学校での様子について、お子さんとの会話を増やす(食事や遊びの中で・・・)
 - *目が届き、様子が分かるところに勉強の場を設ける(食卓学習、テレビを見ながらの会話など)
 - *家庭での時間の使い方について、お子さんと相談しテレビ・ゲーム・携帯電話(スマホ)に向かう時間や使い方などの約束を決める。
 - *中学校のお兄さんと共に、テスト週間を一緒に取り組む。

◆自分についての捉えの状況

- ・「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」「将来の夢や目標をもっている」「学校のきまりを守っている」どれも意識が高く、素直で意欲的な富加の子の様子を表しています。
- ・とくに「自分には、よいところがあると思う」という意識(自己肯定感)が低く、気になります。日頃の学習、生活の中でのちょっとした成長、達成に目を向けること、気づくことを大切に認める言葉をかけて行きたいと考えています。その積み重ねが自信へとつながるはずです。

今後、素直で意欲的な富加小のよさをさらに伸ばしながら、常に授業改善に取り組み力をつけていきます。全体では基礎・基本の定着を図りながら、できる子はさらにできるようにする。また、その子のつまずきに
応じた個への指導も的確に行うことを大切にしていきます。1時間の授業で分かったつもりでも、定着する
には繰り返しの復習が必要です。家庭学習の習慣化だけではなく、基盤となる生活習慣や家庭での親子の会
話やスキンシップなども大切です。これからも家庭と連携して、子どもたちの確かな学びを大切にしてい
きます。低・中・高学年の取り組む重点を大切にしながら、次の内容を全校で取り組んでいます。

□温かい学級集団と学びあう学習集団づくり

励ましあい協力しあう仲間づくりやいじめのない温かい学級集団づくりは、安心して学べる大切な
環境になります。二学期にも行ったQ Uテストを活用して一人一人の意識や思い、友達関係に応じた
指導を大切にしていきます。

□授業改善サイクルを大切にしたい取組

二学期からは、三つの見届けをして授業改善に取り組んでいます。

①子どもの実態を見届ける ②学習状況を見届ける ③定着状況を見届ける

全教員が、研究授業を行い学び合ってきました。指導法の研修だけでなく算数の教科を中心に、道徳や
英語活動など1時間の授業をととして具体的な研修を大切にしていきます。

□少人数指導・個別指導の充実

4年・6年では、少人数指導を分けて実施(5年生はT T)行っています。効果的な少人数指導を工夫
していきます。(「じっくりコース」はできる限り少人数に絞って実施する。コーナーを作った個別指
導を行うなど)。今年度の夏休みに全教員で4年生以上の学年で「サマースクール」を行いました。個別
の指導の時間を確保して、できないことをそのままにしないようにしていきます。

□家庭学習と家庭との連携

ドリル学習だけでなく、どんな宿題や自主学習に取り組ませるとよいか工夫していきます。また、家庭
と共に見届けることや家庭学習に取り組むことができない子への支援についても、家庭と連携して進め
ていきたいと考えています。

二学期の締めくくりにあたって

全校集会では、表彰の場があります。二学期もスポーツ少年団やスポーツクラブでの活躍、文化的活動で
は、県作品展や加茂郡の絵画・書写展そしてピアノなどの音楽活動・・・最近では、時間配分にも苦慮する
ほどです。その時に感じることは、家庭や地域の人たちに支えられて成長した二学期だということです。

10月から始まった、教室や体育館の耐震改修工事も順調に進み、1月中旬には、すべて完了する予定です。
さて、いよいよ77日登校した2学期が終わろうとしています。学校生活全体に目を向けて、振り返ってみま
す。行事の面では、運動会、レインボーリング、社会見学、青空縄とび、校外学習などがありましたが、どの
行事も一生懸命に取り組んでいました。学級や学年の団結力を発揮して、演技・競技・応援・係の仕事に全
力で取り組んだ運動会。また、青空縄とびでは、縄跳びカードをもとに自分の目標もって、いろいろな跳び
方や連続跳びに挑戦する子が多く見られ、一人一人の成長を感じました。

学習の面では、“自ら学び、確かな力を身につけていく子”を育てることに取り組んできました。仲間に
向かって自分の思いや考えを話したり、内容をつかみながらじっくり聞いたりする子が増えてきました。ま
た、学習姿勢だけでなく“聞く・話す”力の育成に取り組んだ結果、聞く側、話す側を意識した聞き方・話
し方ができるようになってきました。

生活全体の取組の面では、三つのじまん活動が高まりました。特に「気持ちのよいあいさつ」について、
地域の方たちからも、近所でも自分から挨拶することができるようになったと
褒めていただきました。掃除や歌声もどの学年も高まってきました。

これから年末・年始を控え、ご家庭でもその準備のために忙しい時をお過ごしになると思いますが、この節目の時期こそ、是非2学期の生活を振り返り、
成長したお子さんの姿を見つけ、努力の成果を認めていただきたいと思います。

そして、2016年の新たな目標づくりにつなげたいものです。2学期の終りに
あたり、保護者の皆様のご理解・ご協力に感謝申し上げます。また、新年もど
うぞよろしくお願いいたします。



1月の主な行事予定

7	木	第3学期始業式 給食あり
8	金	絆の日 アルミ回収 読み聞かせ 書き初め会 発育測定（低）
11	月	成人の日
12	火	交通立番 発育測定（中） 絆の日
13	水	全校集会 県学習状況調査（4、5年）
14	木	青空大縄跳び開始2／4迄 発育（高） 委員会 5年校外学習
18	月	通常日課開始
19	火	6年租税教室 スポーツテスト234年
20	水	児童集会 3年お年寄りとの交流 スポーツテスト15年
22	金	家庭教育学級閉級式
25	月	交通立番
27	水	レインボーリング 学校保健委員会
28	木	委員会 P本部役員会



5年社会科見学

家庭教育学級（給食センター見学）



2月の主な行事予定

1	月	アルミ缶回収
3	水	全校集会
4	木	大縄大会
5	金	PTA授業参観・懇談会 読み聞かせ PTA実行委員会
9	火	新1年生入学説明会
10	水	交通当番 絆の日 レインボーリング
12	金	委員会
17	水	児童集会
19	金	確かめテスト
25	木	交通立番 委員会 PTA新旧役員引継会
26	金	確かめテスト 6年生ありがとうの会



わくわくドキドキサイエンスショー



芸術鑑賞会



英語科研修

子供にとって12月は、いろいろ体験したり、鑑賞したりすることが多い月でした。また、教師も来年度から英語活動から英語科に代わる（保護者には後日説明いたします）ということで、研修会を開き、どのように授業をすればよいか学習しました。